

## 昨年(2014年)実施された『看護系大学の教育等に関する実態調査～2013年度状況調査～』の質疑応答集

| No. | 設問      | 質問内容  | 回答  |
|-----|---------|---|---|
| 1   | Q2      | 2014年度開設の大学ですので、3年次編入の制度はありますが、1. か3. どちらで回答したらよいでしょうか。   | 「ある」とお答えいただき、人数はゼロ記入をお願いします。  |
| 2   | Q4      | 英語や体育等の教養科目を担当している教員の数につきましては、他学部を含めた大学全体での一般教養科目の教員数(必ずしも看護学部の学生だけを担当するわけではない)でよろしいでしょうか？  | ホームページの会員名簿に載っている(2014年度時点で)教員を対象をお願いします  |
| 3   | Q4      | 本学部では産休・育休に入った助手の代替として就任した助手が数名おります。【全教員数】は代替助手も含めると定員を超過するため、【未充足数】と一致しない人数となってしまいます。定員数を入力する欄がないため、回答上ではわかりませんが、毎年度の回答を比較し定員数を計算した場合、定員人数が毎年異なってしまうと思いますが、どのように入力した方がよろしいでしょうか。 | 一番簡単な回答は、日本看護系大学協議会の名簿に掲載される教員でお考え下さい。つまり、代替教員はカウントされないようにお願いします。あくまでも、代替なので、正規教員の方をカウントの対象として下さい。両方をカウントしないようお願いいたします。                             |
| 4   | Q5、6、21 | 文科省のアンケート等では助手は教員に入っていないかと思うのですが、今回の調査では助手を含めてよろしいでしょうか？  | 項目欄に設けましたように、助手も教員の人数に含めてカウントください。  |
| 5   | Q10     | 本学の場合『平日昼夜開講』となっております。該当する項目がないのですが、回答はどうすればよろしいでしょうか。  | 今回の調査は、屋間のみか夜間開講もしているかで比較したいと考えますので、3番の両方開講で処理をお願いします。  |
| 6   | Q13     | Q13の「全在生数」は、休学者数を含めて計上することになりますか？   | 休学者も含んでカウントください。休学者も在学者と考える立場で集計したいと考えています。   |
| 7   | Q16     | 県庁に就職し、保健師としての採用ではあるが、必ずしも保健所勤務でない場合も「保健所・市町村・検診センター」よろしいでしょうか？   | 行政職と思われれます。その場合には、「その他」に入力をお願いします。  |
| 8   | Q16     | 2014年3月の時点で、就職も進学もしていない学生については数に入れなくてよいのでしょうか？それとも、就職者及び進学者どちらかのその他に属する形で入力するのでしょうか？  | ⇒一番下の欄の「その他」に入力をお願いします。   |
| 9   | Q17     | 研究活動に関する表の中で取得件数欄、申請件数2012年11月、採択件数2013年4月とあるのですが申請件数2013年11月、採択件数2014年4月でしょうか・・・。  | 2013年度からスタートする科研補助金が対象ですので、2012年の秋に申請したもので2013年4月に採択が決まったもの、あるいは継続が決まったものです。  |
| 10  | Q17     | 「2013年4月末日時点の状況で回答」となっていますが、5月に申請し、8月末に採択結果が出る文科科研費の研究種目「研究活動スタート支援」の件数・金額は記入しなくていい、と理解して宜しいでしょうか。また、研究種目「新学術領域研究(新規)」は採択結果がでるのが6月ですが、その採択があったとしてもその分の記入はしない、と理解して宜しいでしょうか。       | 2013年度中に採択結果が通知され、2013年度内に採択金額が確定・支給されたものは全てカウントしてください。確かに年度途中で公募が有り、年度途中で研究費が配分されるものもあります。その場合には2013年度中に採択され、配分額が既に支給されているものも含む・・・とお考えくださりご回答ください。 |
| 11  | Q17     | 看護系学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動について企業等による教育研究奨励費についてですが、企業からの寄付金等もこれに含まれますでしょうか。   | 企業からの寄付金についてですが、その資金が研究や教育に間接的にも還元されるものであれば、その他の欄にご記入ください。  |
| 12  | Q18     | 公開講座実施について、講座企画は学部が行い、講座主催自体は、運営を支援する「地域連携センター」が主催との形をとっております。調査設問は、「学部・学科、大学院が主催」のものとなっておりますが、本学教員が企画立案した講座も含め回答することは可能でしょうか。  | 看護系教員が企画立案したものであれば是非カウントをお願いします。  |
| 13  | Q18     | 公開講座について記載する項目があるのですが、講座のテーマの記載欄が12件までなのですが、本学の場合14件ありました。このエクセルファイルで行を増やすことはできないようですが、どのように記載いたしますでしょうか。   | 最後のQ23のご意見、要望欄に、「公開講座の追加分」とご記入いただき、ご回答をお願いいたします。  |

## 昨年(2014年)実施された『看護系大学の教育等に関する実態調査～2013年度状況調査～』の質疑応答集

| No. | 設問    | 質問内容  | 回答   |
|-----|-------|---|--|
| 14  | Q18   | 本学では、一般市民を対象に、夏季大学講座を実施しています(全体では50講座程度開講)。2013年度と同講座では、7人の看護学部教員が「健康長寿を目指して、豊かな老いを生きるために」「在宅ケアの現状と課題ー最後まで家で過ごすためにー」「認知症の人の理解と関わり」等々のテーマで、講座を担当しました。1つの講座の講義時間は、180分です。Q18の公開講座については、学部が主催したものが対象のようですが、上記の講座を「A.一般市民向け公開講座」に含むことはできるでしょうか？ | 看護系教員が企画運営に携わり、かつテーマが明文化され、そのテーマの大半を看護系教員が行っているものを対象としてご回答ください。ご提示のタイトルを拝見すると、ご提示の講座は該当しているものと思われるので、ご記入のこと、よろしくお願いたします。 |
| 15  | Q20-B | Q20のB.学生の授業評価を実施していますか。という問いに関してですが、これは大学、または大学の設置した委員会での実施は含まず、看護学部独自で行ったかどうかをお答えすればよろしいでしょうか。   | 看護学部独自ではなくて、大学全体としても含め、看護学部が行っているかどうかでご回答ください。   |
| 16  | Q22   | 「教員の海外派遣」についてですが、海外派遣とはどのような場合をいうのでしょうか？学会等での海外出張は該当しないのでしょうか？  | 学会参加は含めません。あくまで海外で実施される研修事業や、研究の遂行を目的とした教員のキャリアアップに関わる事項に限らせていただいています。   |
| 17  | Q22-C | (C. 看護系の学部・学科、大学院の在学生の留学先～)<br>本学には授業科目の中に海外研修(2週間程度)を含むものがございます。「研修の事前準備」、「現地研修」、「研修報告」が科目内容となり単位取得ができるものとなります。このような海外での短期研修は該当するのでしょうか。   | 留学生のみを対象としてください。   |
| 18  | Q22-D | 「D」の留学生の受け入れですが、これは「C」と同様に単位が取得できるものと考えて短期の学生のみでカウントしてよろしいのでしょうか？入学試験をして入学した学生は学位取得となるため、この数はカウントしていないのですが、外国籍の学生はすべて留学生とするのでしょうか？  | 一般入試を受験して入学した外国人学生は、留学生には含めないでください。  |
| 19  | Q22-D | 看護学部・学科、大学院の留学生の受け入れ人数とのことですが、「留学」について、期間等のしてはございますでしょうか。本学では昨年度、協定校の学生を2週間看護学部で受け入れております。期間は2週間と短いものとなっておりますが、以上について実績として記入する必要はございますでしょうか。  | 期間は問いません。この件に関しても期間の長短にかかわらずご回答をお願いします。留学生のみを対象としてください。  |
| 20  | Q22-E | Q22のE「教員の短期海外派遣」の人数について、「国際学会への参加は除く」と記載がありましたが、下記の内容についてはカウントするのはいかがでしょうかご教示いただけますでしょうか。<br>①研究調査②海外研修(単位取得なし)への引率や下見  | 教員の海外派遣ですので、相手先(受け入れ先)が明確で、個人の都合ではなく、公的に教員の研修等で派遣されたものが対象です。研究の調査、海外研修の引率などは含まれないものとご判断ください。長期派遣も同じです。                   |
| 21  | Q22-E | (E. 看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の短期海外派遣～)<br>前項Cで記載しております海外研修に同行する教員が該当するかと思います。加えて事務職員も引率者として同行しますが、人数にカウントするのでしょうか。   | 同行する事務職員はカウントしないでください。   |
| 22  | Q22-E | 研究目的の出張回数(国際学会参加を除く)を報告するという解釈でよろしいでしょうか。   | 学会参加は除き、研究目的で「短期海外派遣」をされた先生の人数をご記入ください。  |
| 23  | Q22-E | 「教員の短期海外派遣」の人数につきまして、Q&Aで「相手先が明確で、個人の都合ではなく、公的に教員の研修等で派遣されたものが対象」との内容を確認いたしました。海外大学等の提携可能性を模索するため、海外大学に視察に行ったケースは、「研修等」に該当すると考えてよろしいでしょうか？(相手先は明確で、個人の都合ではなく、公的に派遣しております)   | あくまでも、教員が海外で研修を受けるために公的に派遣されたもののみとご理解ください。視察は範疇外としてご回答いただくよう、よろしくお願いいたします。   |
| 24  | Q22-G | (G. 海外からの学生以外の受け入れ～)<br>海外の大学等からの要望で教員向けに1週間程度の研修(医療施設の見学等)を受け入れることがありますが、本件該当するのでしょうか。   | 該当するとして扱ってください。  |
| 25  | 設問外   | 表記調査に関しましては、本学科は2014年度に開学いたしましたので回答できません。   | 回答不可能な部分は全て空欄にして大学コードや大学名など、基本情報のみでも結構ですのでご記入いただき、ご提出ください。   |